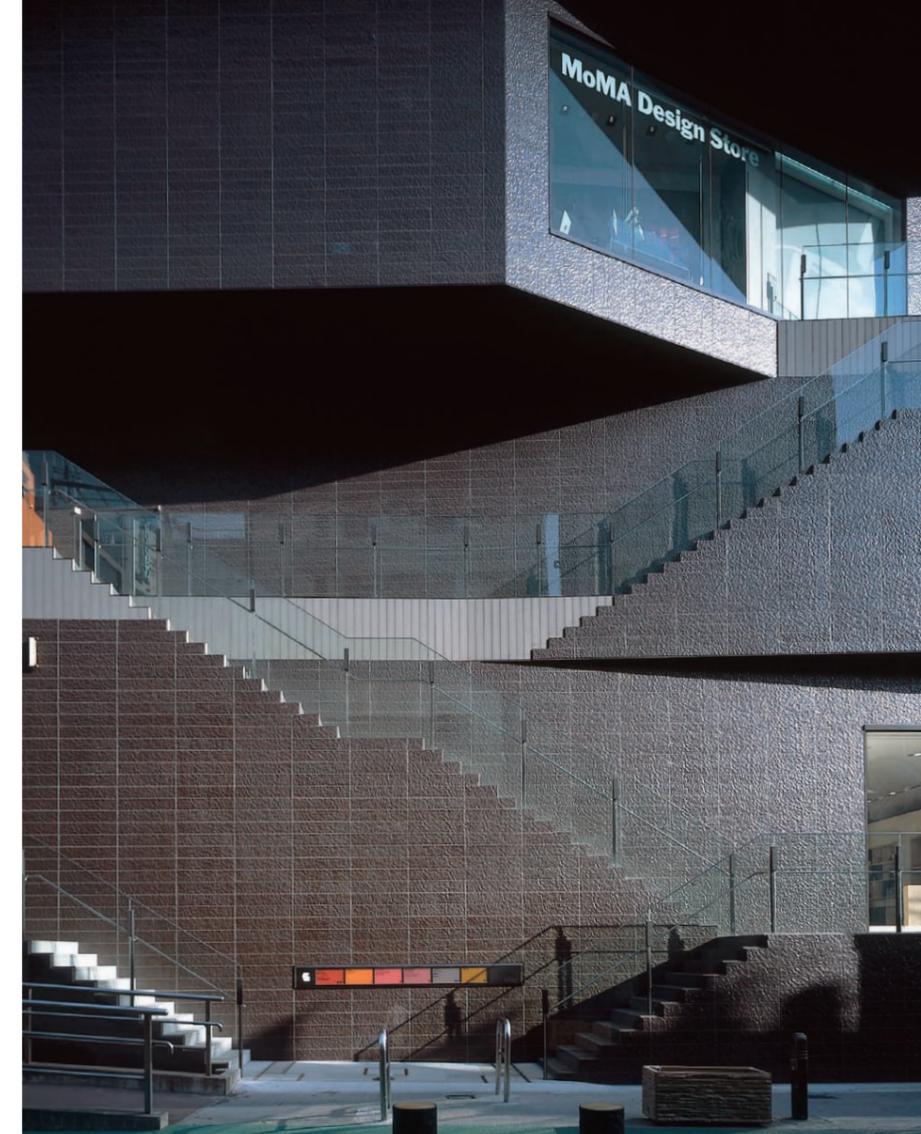


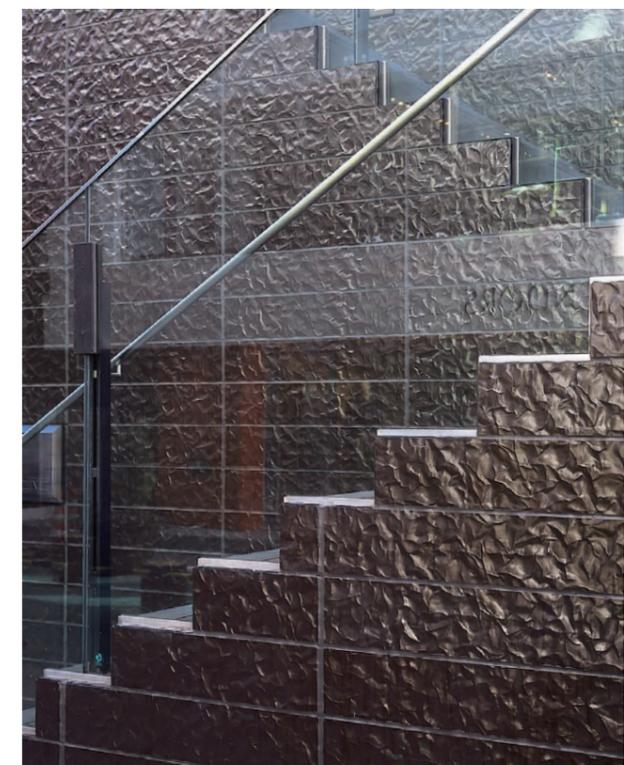
GYRE

総合プロデュース：竹中工務店
設計：MVRDV+竹中工務店

D+T



南東面外観 タイル目地のみで一面に仕上げられた外壁は、タイル表面の特殊な凹凸形状と鈍い光沢により面ごとにその表情を変え、階層のすれをより明確に表している



外周階段足元ディテール

南面外観 階層のすれにより生まれた建物外周の回遊動線



北側のコーナーから見る。上空で街路に跳ね出す階層ボリューム

Design + Technique

建物外周を巡る回遊動線

垣谷伸彦
NOBUHIKO KAKITANI

□建物外周に回遊動線を持つ

商業テナントビル

東京・表参道に面する商業テナントビルの建替計画です。当社がデベロッパーとして既存建物を買い取り、プロジェクトコンセプト、施設コンセプト、テナントミックス等の企画から許認可取得、設計、テナントリーシング、施工まで総合プロデュースを行っています。当社は事業主として、建築を始め、入居テナントを決定した後に不動産法人に売却するのが特徴です。

ケヤキ並木が印象的な表参道には、日本の商業空間をリードするさまざまな個性の建築が並んでいます。そうした街の中で、より強烈な個性を発揮し、かつマルチテナントの商業空間として新たな在り方を模索するために、指名コンペティションを経て、共同設計者にオランダの若手設計集団・MVRDVを迎え、“SWIRL”

というコンセプトで、新しい店舗空間づくりに取り組みました。“SWIRL”とは回転する、ぐるぐる回ることを意味しており、建物の階層を1層ごとに回転してずらしていく建物形状と、階層がずれたことにより建物外周に生まれた来客者の回遊動線を表しています。来客者は、各階でのシーンの移り変わりを楽しみながら、自然と建物を回遊することができます。この建物外周の回遊は単なる垂直の動線ではなく、階層によるヒエラルキーの存在を消す垂直のストリートであり、1階から最上階までの店舗すべてが路面店となるダイアグラムをつくり出しています。

階層ごとに回転することで生まれた余白のスペースには店舗が張り出し、外部からも階段を上って直接アクセスでき、そこは表参道のケヤキ並木を見下ろすオープンテラスとなります。テラスで憩う人々の賑わいや階段を上る人の姿は、並木道を散策する人々を建物へ誘引する演出となります。

□積層された5つ箱体

“SWIRL”というコンセプトを具現化した建物形状は、シンプルな5つの箱体だけで構成されています。この箱体についての我々の共通目標は、スタディ段階のダイナミックなスタイロフォーム模型の再現でした。シンプルな箱体の側面を表現するための外壁システムとして、横積みの押出し成形版を下地に採用し、縦方向のモジュールを短くすることで、層間変形を15mmのシール幅で吸収しています。この目地幅に対して均一に面を施す材料として横長タイルを選び、タイルの目地幅も15mmとすることで下地の目地を消し、箱体の側面を目地の目立たないシームレスな一枚の壁面として実現しています。タイルの表情には自然界や幾何学による既製のモチーフを用いず、紙をクシャッと丸めて伸ばした際に偶発的

に出来る凹凸形状に鈍い光沢をつけることで、抽象化された面をつくり出しています。鈍く反射するタイル面が太陽光との角度によって面ごとに劇的に表情を変えることで、階層ごとのずれをより明確にしています。

箱体の底に当たる軒天井面には、外壁の特注タイルを型にして成形されたアルミキャストをボルト留めています。外壁のシール縦目地を軒天井面の目地に連続させることで、表参道の並木道から見上げた時の立体的な箱体としての印象を強めています。幾何学的な形態にまで抽象化された5つの箱体が積まれることで、“SWIRL”のコンセプトを浮かび上がらせています。

□回転軸を中心にしたテナントミックス

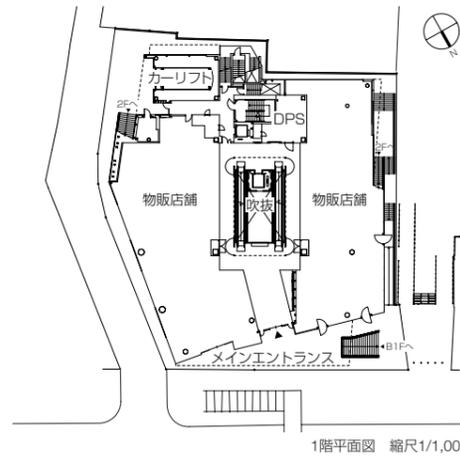
建物内部は、“SWIRL”という建物コンセプトに対する“軸”となる心棒をイメージし、シンプルで縦にストレートな求心力と上昇感のある吹抜けを設けています。白いタイルとブラックステンレスのニュートラルな光沢のカラースキームでまとめることによって、テナントのファサードが大きく感じられる仕掛けをしています。

“SHOP&THINK”という商業コンセプトに合致したテナントをセレクトすることで、新コンセプトの「シャネル」や世界初のカフェを併設した「ブルガリ」、海外初出店となる「MoMAデザインストア」など、これまでにない上質で個性豊かなショップやレストランが17店舗集まりました。商業エリアとしての注目がますます高まる表参道に、ひときわ大きなインパクトをもたらしています。*

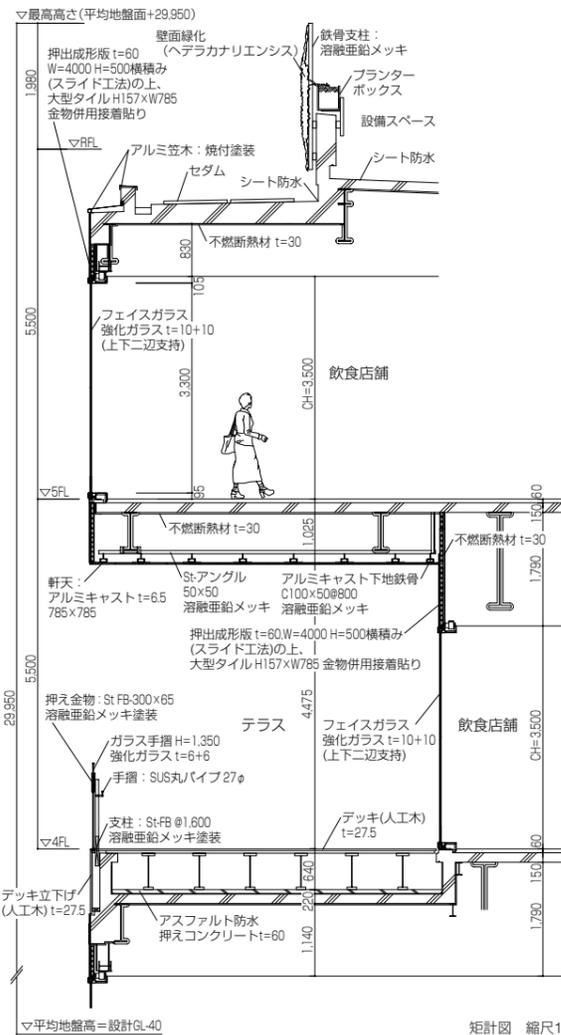
かきたに・のぶひこ—竹中工務店 設計部設計担当/1977年生まれ。1999年、京都大学工学部建築学科卒業。2001年、同大学院修士課程修了、竹中工務店入社。主な作品：ラティス青山(2004)、quaranta 1966(2005)、Villa Rondo(2006)など。



外壁タイル詳細



1階平面図 縮尺1/1,000



断面図 縮尺1/100



表参道から見た全景

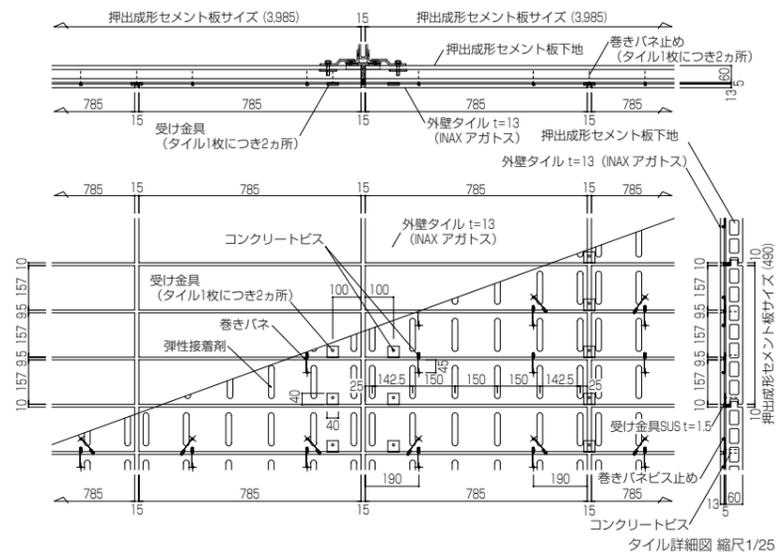


1階内観 テナントファサードの広がり意識し、白いタイルとブラックステンレスのニュートラルな光沢のカラースキームでまとめられた内部空間

■建築概要

名称：GYRE
所在地：東京都渋谷区神宮前5-10-1
総合プロデュース：竹中工務店
設計：MVRDV+竹中工務店
監理：竹中工務店
施工：竹中工務店
敷地面積：1,769.05㎡
建築面積：1,532.28㎡
延床面積：8,950.46㎡
規模：地下2階、地上5階
構造：S造、一部RC造
工期：2006.6~2007.10

●INAX使用商品●AGS-11/157×785/U6039CO



タイル詳細図 縮尺1/25